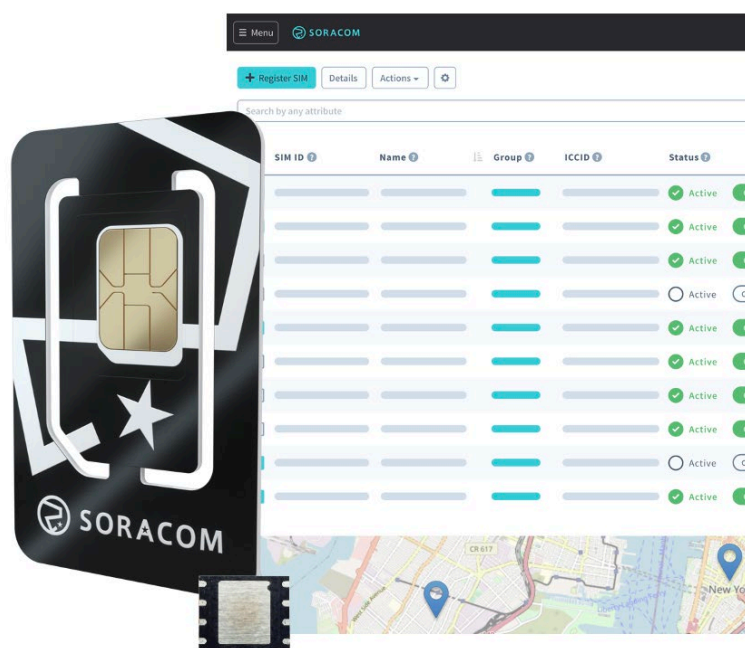


2025年6月24日
株式会社ソラコム

IoTプラットフォーム「SORACOM」、 IoTデバイス製造を支える新機能「テストモード」を提供開始

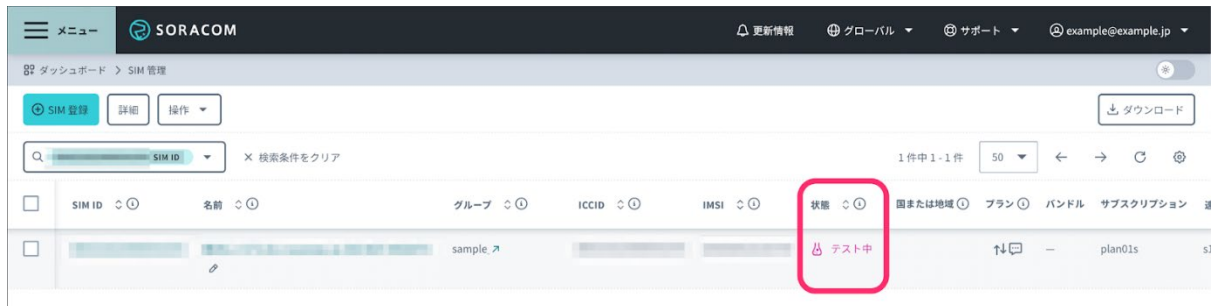
デバイス製造や検品時のデータ通信料金を無料に、
サプライチェーンを考慮したスムーズな商用展開を支援

株式会社ソラコム(本社:東京都港区、代表取締役社長CEO 玉川憲)は、IoTプラットフォームSORACOMにおいて、データ通信サービス「SORACOM Air for セルラー」のIoT SIM(グローバルカバレッジ)において、IoTデバイスの量産における通信テストを効率化する新機能「テストモード」を2025年6月24日より提供開始いたします。



モビリティや車載デバイス、ヘルスケアやライフスタイル製品、産業用途の各種メーターや端末など、グローバルに展開するコネクテッドデバイスは増え続けています。このようなデバイスを量産する過程は、複数の企業によるサプライチェーンが前提になります。メーカーが企画した後、自社または委託を受けた工場で製造し、最終検査においてセルラー通信を含む疎通確認を実施することが一般的です。また、検査後は各国の販売網にわたり、ユーザーの手元に届いて利用が始まる際に、製品としての通信が開始されます。

この度提供を開始する「テストモード」では、このようなコネクテッドデバイスの製造に対応し、商用利用開始前は、無料で製造段階での通信確認が実施できる新たなSIMのステータス「テスト中(Testing)」を追加します。一定期間内または指定されたデータ通信量・SMS数のいずれかに達すると、自動的に「使用中(Active)」、「利用開始待ち(Suspended)」などのステータスに変更されます。商用利用の開始タイミングから通信費用が発生するようになり、通信利用開始のコントロールが容易になります。



SORACOMのユーザーコンソールやAPIから、本ステータスでの通信量・残容量・残SMS回数・残期間をご確認いただけます。自社の製造工場で製造するケースのほか、外部の提携工場、委託先での製造も想定しており、製造工場がSIMを購入し製造後にメーカーにSIMを譲渡するフローにも対応します。

特にグローバル展開を前提としたデバイスや、数万、数十、数百万台単位での量産が見込まれるプロジェクトにおいて、製造から出荷、商用利用までのプロセスがより効率的かつスムーズに進められるようになります。

SORACOM IoT SIMのグローバルカバレッジで利用でき、plan01s、planX3などのプランで提供を開始し順次対応プランを拡充します。利用に際しては、ソラコムにお問い合わせ下さい。

ソラコムは「IoTテクノロジーの民主化」を掲げ、SORACOMを通じてIoTを軸に最新技術をより使いやすく提供することで、多くの活用事例とイノベーションの創出を目指します。

ソラコムについて

IoTプラットフォームSORACOMは、世界180以上の国と地域でつながるIoT通信を軸に、IoTを活用するために必要となるアプリケーションやデバイスなどをワンストップで提供しています。製造、エネルギー、決済などの産業DXから、イノベティブなスタートアップ、農業や防災など持続可能な地域社会を支える取り組みに至るまで、さまざまな業界・規模のお客様にご活用いただいています。

ソラコムコーポレートサイト <https://soracom.com>

本ニュースに関するお問い合わせ

株式会社ソラコム 広報 田淵

pr@soracom.jp